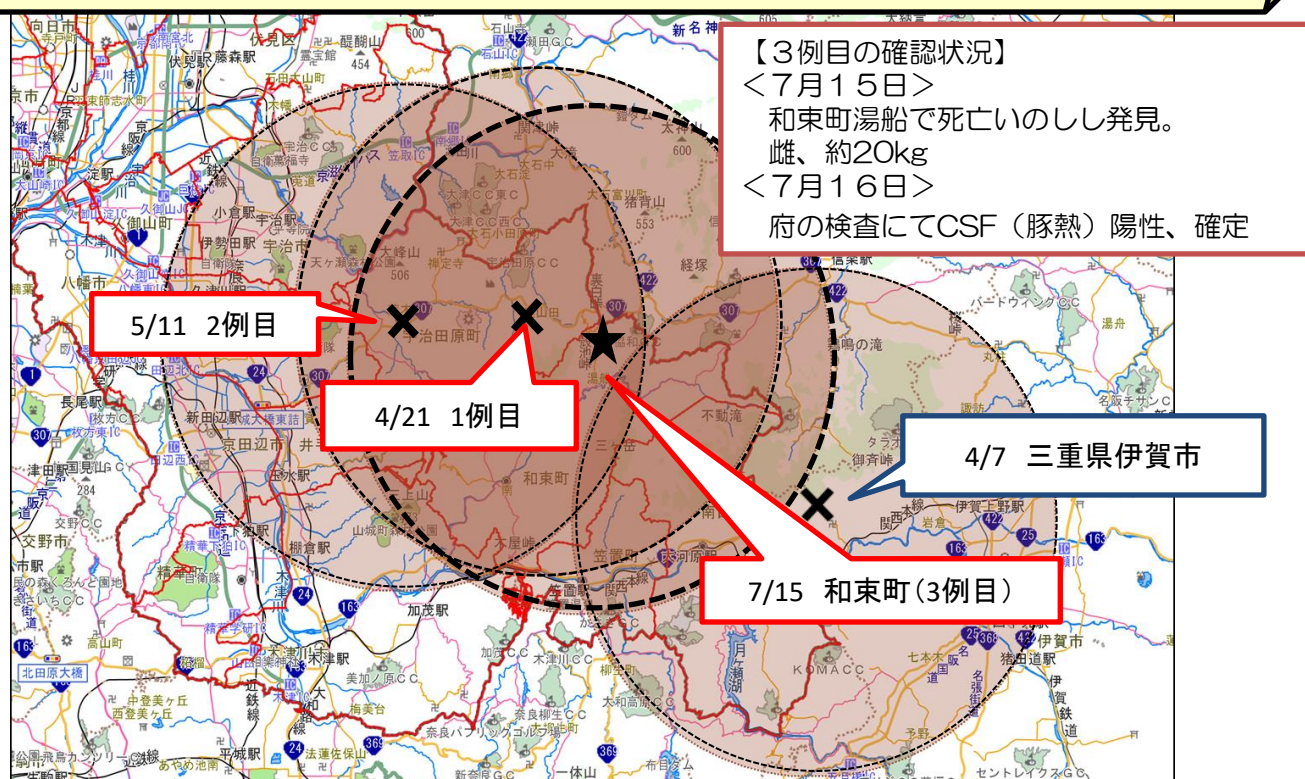


# 和東町の死亡野生いのししから CSF(豚熱)ウイルスを確認(府内3例目)!

7月15日に京都府和東町内で死亡していた野生いのししから、CSF(豚熱)ウイルスが確認されました。京都府では3例目の確認です!

現在、CSF陽性いのしし確認地点から半径10km圏に含まれる地域は下図のとおりです。(城陽市、宇治田原町、井手町、和東町、南山城村全域。宇治市、笠置町のほぼ全域、京都市、八幡市、京田辺市、木津川市、久御山町、精華町の一部)

飼育施設への部外者の立入制限と車両・靴等の消毒、施設周辺の消毒やネズミ駆除、野生動物の侵入防止などの衛生対策を引き続き実施してください。



▶毎日の健康観察と異常家畜(耳・下腹部・四肢の紫斑、結膜炎、複数頭の40℃以上の発熱、便秘又は下痢、食欲不振など)の早期発見・早期通報をお願いします。

▶豚熱の発生を防止するためには、人や物を始め野生動物などによって飼育環境にウイルスが持ち込まれないことが重要です。

- ☑ 出入りする車両や飼育施設周辺の消毒の徹底
- ☑ 飼養衛生管理区域専用の衣服・長靴の着用
- ☑ いのしし、ねずみなどの野生動物の侵入や接触の防止
- ☑ 肉及び肉製品が含まれている可能性のある飼料の加熱給与  
(70℃以上30分以上または80℃以上3分以上)

■CSFは、豚、いのししの病気であり、人に感染することはありません。

■CSFにかかった豚の肉が市場に出回ることはありません。